

は 歯みがきのあと、ミカンを食べるとにがいののはなぜ

した 舌がだまされるのが原因

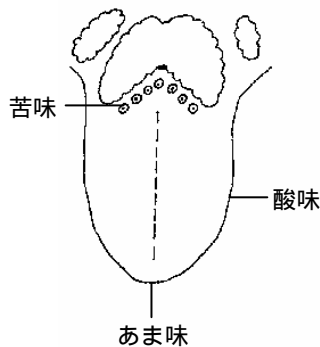
は 歯をみがくための「は 歯みがき」には、は 歯をみがくためのもののほかに、かおりをつけるもの、あまいものなど、は 歯みがきをしやすくするものが入っています。しかし、中には口の中をひんやりさせるハッカなどのように、た もの あじ か 食べ物の味を変えてしまう成分が入っているものがあります。そのため、は 歯みがきをしてよくくちをすすがなかったり、は 歯みがきのすぐあと た もの た 食べ物を食べると、した 舌がだまされて、ほかのあじ かん 味を感じてしまうことがあるのです。

は 歯みがきの後、ミカンを食べると、にが かん 苦く感じるのはそのためです。

した あじ 舌で味がわかるのは

した あじ 舌で味がわかるのは、した あじ 舌には味覚芽または味蕾とよばれる、あじ かん 味を感じる装置のようなものがあるからです。みらい した 味蕾は舌のねんまく き まった場所 ばしょ にあり、たこつぼのようなあな になっています。この中にはみらい 味細胞が つま っており、このう へ 脳からきたみらい 味覚神経が のび てきて、みらい 味細胞につながっています。くち た もの はい 口に食べ物が入り、した 舌にあるみらい 味蕾の味細胞にふれると、それがみらい 味細胞につながっているみらい 味覚神経からのう つた へ 伝わり、わたしたちはあじ かん 味を感じるというわけです。（監修・保志 宏）

味を感じる場所



味蕾のしくみ

